

改善箇所説明図



大型観光バスにおいて、スイングドア下側ハーネスの配線が不適切なため、ドア開閉時に当該ハーネスが周辺部品と干渉して過度の屈曲が生じる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ハーネス内の配線が断線して電装品（パイロットランプ、サイドターンランプ、ドアガラス熱線ヒータ）が作動不良となり、最悪の場合、異臭・発煙が生じるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、スイングドア下側ハーネスのドアエンジンからドア入口までの配線を新品に交換すると共に樹脂製バンドによる固定を追加する。

また、サービスボックスのロアカバーが樹脂製の車両は、ロアカバーブラケットを対策品に交換する。

注：□ は交換する部品を示す。

□□ はサービスボックスのロアカバーが樹脂製の車両において、対策品に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後部の点検リッド裏の位置に白色ペイントを塗布する。